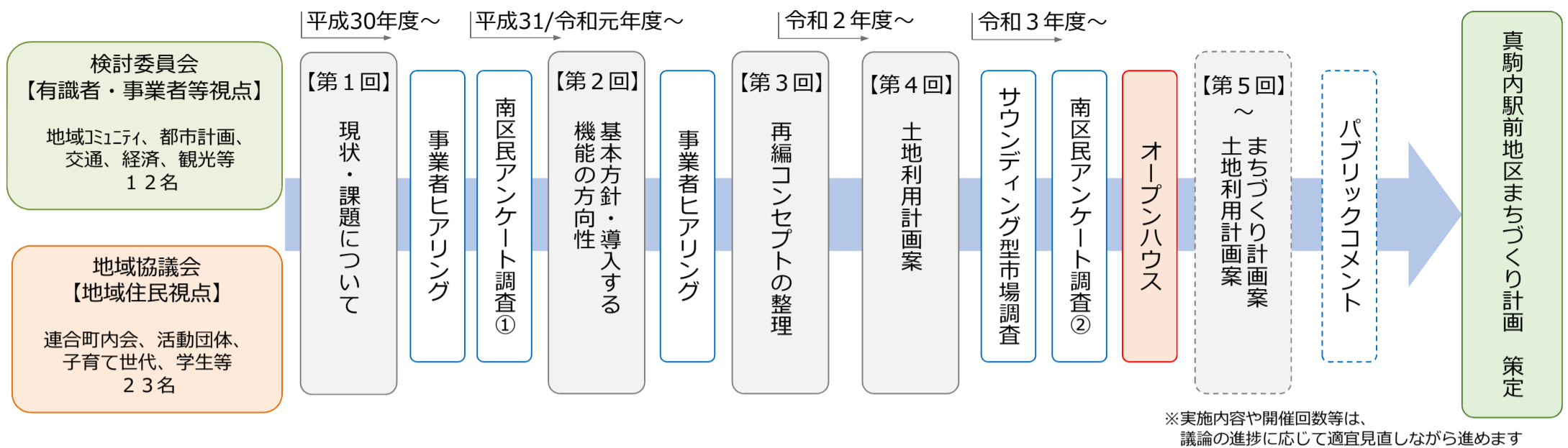


真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス パネル②

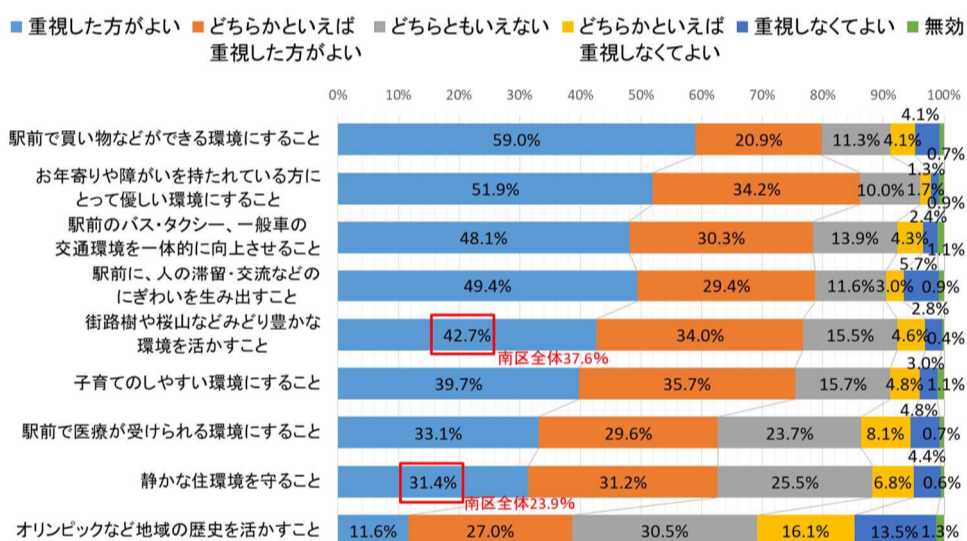
③ まちづくり計画策定までの検討の流れ



④ 第1回 南区民アンケート調査結果

調査期間：平成31年（令和元年）4月～5月
 調査方法：南区民（18歳以上）から6,000名を無作為抽出
 調査結果：回答数2,625件（43.8%） 自由記載1,359件

土地利用再編で重視すること（真駒内地区にお住まいの方）



⑤ まちづくりの基本方針（第2回 検討委員会・地域協議会）

基本方針1：“地域独自の魅力を活かした特徴あるまち”の拠点

- ① 豊かなみどりを感じる街並みの形成
- ② 駅前にふさわしい公共空間の充実
- ③ スマートコミュニティのモデル地区を形成

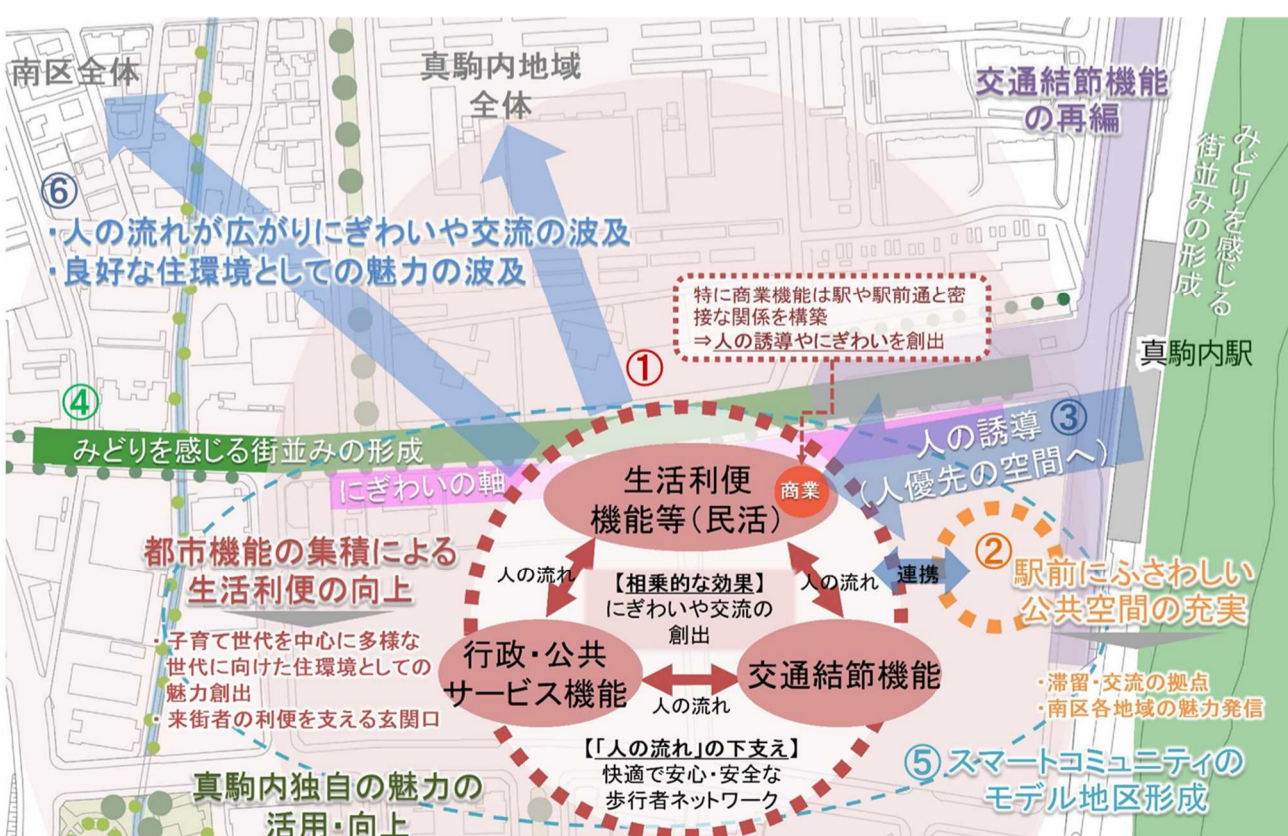
基本方針2：“あらゆる世代が豊かに暮らせる持続可能なまち”の拠点

- ① 子育てしやすい環境の実現
- ② 民間活力の導入
- ③ 駅前にふさわしい公共空間の充実（再掲）

基本方針3：“歩いて暮らせるまち”の拠点

- ① 行政・公共サービス機能を駅に近づけて配置
- ② 民間活力の導入（再掲）
- ③ 歩行者ネットワークの創出
- ④ 交通結節機能の再編

⑥ 再編コンセプトのイメージ図（第3回 検討委員会・地域協議会）



① 都市機能の相乗効果によりにぎわい等を創出
 図中央の、民間施設などの「生活利便機能等」、区役所等の「行政・公共サービス機能」、真駒内駅前の「交通結節機能」を主要な機能とし、これら相互間の人の流れを促すことで、相乗効果としてにぎわいや交流の創出を目指します。

② 駅前にふさわしい公共空間の充実
 駅前にふさわしい公共空間を充実させることにより、駅前を「滞留・交流の拠点や南区各地域の魅力発信の場」とすることを目指します。

③ 人の誘導によりにぎわい創出を促進
 駅から駅前地区へ人の流れを誘導し、特に「商業機能」を駅や駅前通りと密接な関係にすることで、にぎわい創出の促進を目指します。

④ みどりを感じる街並みの形成
 桜山や駅前通りの緑豊かな景観を活かし、「みどりを感じる街並み」の形成を目指します。

⑤ スマートコミュニティのモデル地区形成
 駒岡清掃工場からの排熱の活用や、先進・省エネ技術の導入など、環境等に配慮したまちづくりとして「スマートコミュニティのモデル地区の形成」を目指します。

⑥ 真駒内地域全体・南区全体に効果を波及
 上記等の取組を組み合わせ、真駒内地域全体や南区全体に、にぎわい・交流の波及や、良好な住環境としての魅力の波及を目指します。